



Mercure Tokyo Haneda Airport

羽田空港にほど近い、京急大鳥居駅近くに開業したメルキュール東京羽田エアポート。日本を代表する空の玄関口と、ものづくりの街として栄えた古い羽田を「TOKYO ECLECTIC」というコンセプトに集約し、ヨーロピアンモダンの中にこの土地のDNA・伝統工芸やサブカルチャーを組み合わせたアートディレクションを行いました。

物件名
メルキュール東京羽田エアポート
開業
2023年11月
事業主
サムティ株式会社
インテリア設計
株式会社 久米設計



1F Entrance

メルキュールブランドのアイコン・ブランドウォールは、アートを通じてその土地の特徴を表現することで知られています。TOKYO ECLECTIC のコンセプトを体現するよう、能舞台の鏡板溶接マスク、鉄粉をあしらったインダストリアル招き猫、ジェット機のエンジンプレート、スピーカーの音で墨を動かすアーティストなど、大田区のものづくりスピリットを集約させ、大田区の伝統工芸をメルキュール視点でヒネリを加えています。風除室入口から180°広がる空間を楽しんでいただければ幸いです。



1F Reception

レセプションカウンター背面は、茶室の窓に見られる「借景」から着想し、額縁を町工場の「窓」に見立て、コンクリートや土、工具の上に鉛を落としながらこの街の風景を再現しました。レセプション下には、鉛でできた抹茶碗を置きました。チェックイン中、茶室でお茶を楽しむように、この土地のインダストリアルな美を楽しんでいただけます。



1F Bar and Lift Lobby

扇とかんざしの着物柄を西陣織で仕立てました。銅糸をふんだんに使用した、名付けてインダストリアルキモノ。金属のような質感が特徴です。エレベーターホールの盆栽は全て手作業でワイヤーを曲げて成形しており、決して枯れない、強靱な松が完成しました。



1F Restaurant

レストラン手前に配置した壁面アートは、階段の手すりなどに使用されているツイストバーと、鍛金によって曲げられたお皿を溶接したインダストリアルな一品です。



2F Lounge / Meeting Room

セガ本社の跡地というバックグラウンドがあり、日本のゲーム史における象徴的なキャラクターやガラケー、カセットテープ等のメイドインジャパンなアイコンを抽象化したアクセサリをコラージュしました。あの頃の記憶がよみがえる「懐かしい」を探してみてください。



2F Gym



2-9F Lift Lobby

エレベーターホールのアクセサリはテレビゲームを始め、レコード、カセットテープ、3Dプリンターで成形されたオブジェなど、東京のミクスト・カルチャーのコラージュです。



2-11F Guest Room

大田区には約3500の工場が密集するこの地域は「ものづくりのまち」として知られ、「空から大田区に図面を投げ込むと、どんなものでも翌日には見事な製品になって出てくる」と称されるほど、情熱と職人魂が集まった街とされています。その大田区の7区画をリベットで連結し、ウォータープリンティングの技法で飛行機から見える工場地帯を描いています。もう一方の部屋はパンチングメタルを窓に見立て、飛行機から見える3500もの工場を表現しています。



ICA

Interculture Art Inc.

ICA Bldg. 4F, 560-2 Waseda-Tsurumakicho,
Shinjuku-ku, Tokyo 162-0041

t: +81(0)3-3207-3911

e: contact@intercultureart.com

intercultureart.com

